看護学校News

成人を迎えて　48期生　古川　彩加

今年6月に20歳という節目を迎え、新たな一歩を踏み出しました。成人を迎えられたのは周囲の方々の支えのおかげであり、感謝の気持ちでいっぱいです。私は文字を読むことが苦手です。ですが、二十歳を機に本に触れる機会があり、本を読むことが趣味になっています。本を読むことで自分にプラスになる言葉や考え方に出会えることができるからです。その中で得られる気づきは、学校での学びにも良い影響を与えていると感じています。

これからも知識を深めながら大人へと成長していきたいです。

きららの里便り

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、利用者の皆さま、ご家族の皆さま、そして地域の皆さまより温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本年も、利用者の皆さまが安心してお過ごしいただける環境づくりを第一に、職員一同、より質の高いケアの提供に努めてまいります。また、感染症対策をはじめ、安全管理や生活支援の充実を図り、皆さまの日々がより豊かなものとなるよう取り組んでまいります。

本年が皆さまにとって健やかで穏やかな一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。（事務長　平岡）

～お祭りわっしょい～

令和7年11月20日、今年の秋まつりは、ご利用者の皆さまと一緒に「手作りみこし」を制作しました。

色とりどりの折り紙や画用紙で飾り付けをし、皆さんの想いがこもった世界にひとつだけのみこしが完成。当日は、「わっしょい！」の掛け声に合わせて交代で担ぎながら、施設内を練り歩き、笑顔いっぱいの温かい時間となりました。秋の実りを感じながら、心も体も元気になるお祭りでした。

おしらせ

◆がんサロン
毎月第3木曜日 13:30～ 当院6階講堂

◆心臓リハビリテーション教室
毎月第4金曜日 13:30～ 当院6階講堂

*日程変更がある場合があります
興味のある方はお問い合わせください

編集後記

新年明けましておめでとうございます。一昨年は、年末にインフルエンザにかかり、職場・家族に迷惑をかけた事を思い出します。今年は、元気に新年を迎え、風邪など引かないよう一年間頑張っていきたいと思います。皆様も素敵な一年になりますように（K）

上天草市立上天草総合病院
住所：866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19
電話：0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)
URL：http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/
Eメール：kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp
発行：上天草市立上天草総合病院広報委員会

※上天草総合病院通信あこうは、病院の窓口に置いてありますので、ご自由にお取りください。

発行日　令和8年　1月1日(通算第227号)

上天草市立上天草総合病院通信

あこう

No.4

年頭のあいさつ

上天草市病院事業管理者　船曳 哲典

明けましておめでとうございます。

2026年の年頭にあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

病院にとって昨年の一番大きな出来事は病床数削減と病床再編でした。削減後の病床数を165床としましたが、過去10年間、入院患者数が165人を超えることはなかったため、165床が当地域における適正な病床数であると判断しました。削減後も天草圏内では天草地域医療センターに次ぐ病床数であり、天草圏内において果たすべき役割が変わるわけではありません。また一般病床の一部を地域包括病棟に転換しましたが、これも収益をあげるために病棟の「看板」を書き換えただけであり、日々の業務に変更はないので、地域の皆さまのご理解をお願いする次第です。

病院には30を超える委員会やチームがありますが、昨年は新たにACP（人生会議）チームが活動を開始しました。患者さんがご自身で意思決定することが難しくなった場合でも、自分らしい生き方を実現できるよう多職種でサポートするチームです。

医療においても「AI（人工知能）」を活用する場面が増えていますが、当院でも胸部レントゲン検査時に早期肺がんを診断するための「AI」装置を導入しました。

私たちにとってうれしかったことは、全国国保地域医療学会（盛岡市）で脇田富雄病院長が「心不全患者に対する多職種による包括的介入が再入院率を低下させた」との当院での経験を発表し、246演題のなかから最優秀研究に選ばれ表彰されたことです。

また10月の熊本県国保地域医療学会で当院からは以下の3題を発表し、いずれも高い評価を受けました。

・「熊本県天草地方における日本紅斑熱患者発生数の変動と要因の分析」　和田 正文（医師）
・「膀胱留置カテーテル利用の現状と看護師の意識の変化」　下森 喬太（看護師）
・「食べたいという気持ちに寄り添って～高齢者にとっての食事の意義と必要性～」　森 春佳（介護福祉士）

このように日常業務のなかの問題点を研究テーマとして取り上げ、情報収集と話し合いによって試行錯誤を繰り返しながら解決していくことはとても大切なことだと考えています。

上天草地域では高齢者人口が大きく変化することはありませんが、15歳から64歳までの生産年齢人口が減少していくと予測されています。病院では特に調理師さんや助手さんの人手が足りません。病院の仕事に興味がある方は、ぜひ総務課（0969-54-7633）まで御連絡ください。

Photo by Yukio Tanigawa

午年生まれの抱負

2病棟に勤務しています。濱崎鐘大です。今年で看護師として3年目になります。

3年目を迎えるにあたり、急性期医療を担う2病棟の一員として、より確かな観察力と判断力を磨き、安全で質の高い看護を提供できるよう努めたいと考えています。地域密着型の病院ということで病棟ごとの役割などが少し異なり、病気の治療からリハビリ・退院支援まで、地域の医療のおもしろさも日々実感しています。急性期から在宅へとつながる地域医療の流れを理解し、患者さんが安心して次のステップへ進めるよう、他病棟や多職種との連携をさらに深めていきたいです。

また、午年は「粘り強さ」や「誠実さ」を象徴すると言われます。一歩一歩を大切にしながら粘り強く課題に取り組み、地道な積み重ねを怠らない姿勢を大切にしていきます。地域から信頼される看護師として着実に成長していきたいです。

(2病棟　濱崎　鐘大)

新年を迎えるたびに、時の流れの速さを感じます。

今年は仕事もラストイヤーです。皆さんに支えてもらい、この年齢まで勤めることができたことに感謝申し上げます。あとひと踏ん張り、仕事に尽力していきますので、よろしくお願いします。

毎年今年こそは、野菜作りをしよう、ウォーキングをしよう、断捨離しようなど、したい事は山ほど思い浮かびますが、なんとなく「なるようになる」人生、実行に移すまでには、また時間がかかりそうです。

今は母の介護をしながら毎日、ハプニングあり、笑いあり、時には喧嘩もあります。それでも母は、いつも風呂に入り「あ～極楽、極楽、この世で私のように、しあわせな者はいない」と魔法の言葉をかけ、私を癒やしてくれます。母から、ずっとその言葉が聞けるように、今年も穏やかに過ごしたいです。

(地域医療支援課　森口　留美)

令和の米騒動や物価高が流行した2025年から年が明けて、今年は、午年。年女ということです。私は、今は龍ヶ岳支所となっている場所に建っていた上天草総合病院で産まれました。未熟児で生まれた私は、医師や看護師をはじめとして、職員の方々や守衛さんまでお世話になったと聞いています。

その私が、縁あって、この病院で看護師をするようになって、10年が過ぎようとしています。3人の子供たちも、今年で成人を迎え、子育ても終盤に差し掛かっています。大きくなるにつれて、考え方も三者三様となり、それぞれの道を進んでくれていることをうれしく思うこともあります。そのような中で、自分の時間も増えてきていることから、自分の生活習慣を振り返りながら、次の午年まで、前進しながら、働くことができるといいなと思っています。(4病棟　山下　郁美)

私は、上天草看護専門学校に勤務しております小﨑博和と申します。看護教員としては5年目となります。私自身、上天草市の出身で本校の卒業生として上天草総合病院へ就職後、現在の上天草看護専門学校に勤務しております。今回、午年生まれとして、前へと力強く進む精神を大切にしながら、本年度も看護教育に誠実に取り組んでまいります。本校の校訓である「すこやかな身体・いたわりの心・科学する看護」を軸に、学生一人ひとりが健やかに学び、相手を思いやる姿勢と確かな知識・技術を身につけられるよう、日々の授業や実習指導に尽力していきたいと思います。変化の激しい医療現場に対応できる看護師を育成するため、私自身も学び続け、教育内容の充実を図ってまいります。午の勢いにあやかり、学生とともに成長し、地域医療へ貢献できる人材育成に力を注ぐ一年としたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(上天草看護専門学校　小﨑　博和)

病院探訪　循環器内科はあなたの「心臓」と「血管」を守ります

第3回目は循環器内科を紹介！

動悸、息切れ、胸の痛み、足のむくみなどの症状のある方は、ぜひ循環器内科にご相談ください。循環器内科は、生命の根幹を担う心臓と、血液を全身に届ける血管の病気を診る診療科です。

私たちが扱う病気は多岐にわたります。心臓の血管が狭くなる・詰まることで起こる狭心症や心筋梗塞、脈が乱れる不整脈、全身に十分な血液を送れなくなる心不全、心臓の弁に異常をきたす心臓弁膜症などがあります。

また、これらの原因となる高血圧症、脂質異常症（高コレステロール血症など）、糖尿病などの管理も重要です。これら生活習慣病は、自覚症状がないまま血管を傷つけ、心臓病や脳卒中を引き起こすリスクを高めます。私たちは、心電図、心臓超音波検査（心エコー）、CTやカテーテル検査などを行い、病気の早期発見と正確な診断に努めています。

心臓と血管の病気は、早期に発見し、適切な治療と生活習慣の改善を行うことで、その後の経過が変わります。胸の圧迫感や息苦しさ、急な動悸、足の冷えや痛み、むくみなどの症状を感じたら、軽視せず専門医の診察を受けることが大切です。

当科では、エビデンス（根拠）に基づいた治療を提供するとともに、患者さん一人ひとりのライフスタイルに合わせた生活指導にも力を入れています。心臓リハビリテーションや栄養指導なども含め、再発予防と生活の質の維持・向上を目指します。

「年のせいかな」と諦めずに、ご自身の心臓と血管の健康を守るために、少しでも気になることがあれば、どうぞお気軽に循環器内科のドアを叩いてください。地域の皆様の健康な毎日をサポートいたします。

循環器内科外来　一同

健康管理センター便り　健康診断は受けられましたか？まだ間に合います！！

国民健康保険や社会保険の方は特定健診や人間ドックができ、プラスしてオプション検査を受けることができます。主なオプション内容は、胃カメラ／腹部超音波検査／胸部レントゲン検査／子宮頸がん検診／経腟超音波検査（子宮頸がんとセット）／女性腫瘍マーカー（血液検査）／マンモグラフィ検査／前立腺腫瘍マーカー（血液検査）／頭部MRI検査／動脈硬化検査／内臓脂肪測定（腹部CT）検査／骨粗鬆症検査（超音波検査）／便潜血検査などがあります。

年１回健康診断を受けて、ご自分の体を大切にしましょう。

当院の地域医療支援課に、ふれあい健康講座の窓口があります。

様々な場所へテーマに沿った職種が参りますので、是非ご利用下さい。